



令和7年度OTAキャリア教育プラン

～たのしいをずっと チャレンジをもっと なりたい自分へ 1UP～



【学校教育目標】 一人一人が主人公 ～明日に向かってチャレンジ～

児童生徒一人一人の良さや可能性をのびし、家庭や地域と連携しながら、自立と社会参加を目指し、自分らしくたくましく生きる力を育てる。

【目指す児童生徒像】

- 【あかるく】明るく笑顔であいさつができる子ども
- 【しなやかに】自分で考え、伝え、行動できる子ども
- 【たくましく】いろいろなことにチャレンジできる子ども



【本校におけるキャリア教育目標】

- 一人一人が「なりたい自分」を目指す力を育てる。
- 自ら考え「自分の役割」を果たそうとする意欲や態度を育てる。

【進路指導部方針】

「本物に触れながら学ぶ」体験を積み上げることで「生活」や「働く」という意識を高め、地域での自立と社会参加をイメージする力を養い、キャリア形成を図る。

【重点努力目標】 キャリア教育の推進

- 家庭や地域と連携した小学部からの系統的なキャリア教育の推進
- 地域資源を活用した教育活動の充実（OTA ぶどうプロジェクト、社会人講師の活用）
- あいさつの習慣化
- コミュニティ・スクールを生かした開かれた学校づくりの推進

各部キャリア教育目標

授業の充実：日々の教科等の学習を通じて「なりたい自分」を目指す

小学部

- 日々の学習をとおして好きなこと、得意なことを知る。

中学部

- 日々の学習をとおして将来やりたいことややりたいもの考える。

高等部

- 日々の学習をとおして夢や希望の実現のために必要な力を身につける。

様々な体験を通して、自分でできることを増やす

- ・着替え、食事、あいさつなどの基本的な生活習慣を身につける
- ・身近な人とかかわり、自分の気持ちを伝える
- ・学級での役割や家での手伝いに取り組む

考えたり選択したりして、肯定的に自己理解する

- ・自分の良さや、やりたいことが分かり、それを生かそうとする
- ・自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする
- ・基礎的な知識や技能を身につける

自分と向き合い、なりたい自分へ向かう

- ・自己の適性や能力を知りそれを生かして行動する
- ・自らの思考や感情を律し、他者と協力して行動する
- ・状況を判断し、自分から行動するために、知識や技能を高める

○いばらきキャリア・パスポート：特別活動を中心に、日々の学習状況や自身の変容、成長を教員、保護者と対話的にかかわりながら自己評価し、12年間引き継ぐ。

体験の充実：「本物に触れる学び」を通じて、実体験に基づく喜びを味わう

小学部 ～地域資源を生かした体験学習～

- 人とのかかわりをとおして社会の仕組みを知り、自分の役割を果たす喜びを味わうことができる。

中学部 ～地域資源を生かした体験学習～

- 地域とのかかわりをとおして実践的・体験的な活動を行い、将来への関心を高め人に役立つ喜びを味わうことができる。

高等部 ～インターンシップ～

- 卒業後の社会生活を過ごすために必要な知識や技能について知り、身に付けることができる。
- 自己の適性、適職や自らの課題に対しどのように対処すべきか考え、表現することができる。
- 勤労に対する意欲や関心を高め、主体的に取り組むことができる。

自立と社会参加

インターンシップの評価：「求める力」を評価基準とした内部評価、外部評価によって個に応じた成果や課題を明確にする。